

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立栗原北小学校	対象となる主な学年	全学年（特別支援学級も含む）
取組事例名	「クラス会議～自治的風土・あたたかな共同体感覚の醸成～」		

◆ 児童の実態及び取組を通して育てたい児童像	
児童の実態	取組を通して育てたい児童像
今年度の実態として、あたたかな関わり合いの姿や暴力ではなく、言葉で解決していこうとする姿が多く見られるようになった。しかし、特に低学年児童においては、感情のコントロールが難しい場面があり、暴力をふるってしまう姿も見られる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思いや悩みを言葉で表現し、友達や周囲の人に相談することができる。 ・ 自分たちで解決方法やルールを決め、実行することができる。 ・ 目を見て体を向けて聴く、発言の順番を守る等、ソーシャルスキルを身に付け、生活場面で活用することができる。



◆ 取組の具体的内容	
取組を実施する意図及びねらい	
<p>令和2年度に「相手の気持ちを考えることができない」「言葉で思いを上手く表現できない」という児童実態があった。それを改善するための一つの取組として、「クラス会議」を全校で導入し、現在まで改善をしながら継続して取り組んでいる。</p> <p>本校における「クラス会議」のねらいは、「①自分たちで決める・実行するという自治的風土を築く」、「②自分の居場所を感じられ、他者と繋がっている」と感じられるあたたかな共同体感覚を養うの2点である。</p>	

取組の流れ・創意工夫・児童の変容等																	
○取組の流れ																	
本校では、上越教育大学大学院赤坂真二教授が提唱されている『クラス会議』をベースに進めている。																	
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">【基本的な進め方】</th> </tr> <tr> <td>1 輪になる（時間前）</td> <td>7 話し合い</td> </tr> <tr> <td>2 あいさつ</td> <td>・ 解決策を集める</td> </tr> <tr> <td>3 話し合いのルール</td> <td>・ 解決策をしぼる</td> </tr> <tr> <td>4 いい気分・感謝・ほめ言葉（アイスブレイキング）</td> <td>8 決まったことの発表</td> </tr> <tr> <td>5 前回の解決策の振り返り</td> <td>9 振り返り</td> </tr> <tr> <td>6 議題の提案</td> <td>10 先生の話</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11 あいさつ</td> </tr> </table>	【基本的な進め方】		1 輪になる（時間前）	7 話し合い	2 あいさつ	・ 解決策を集める	3 話し合いのルール	・ 解決策をしぼる	4 いい気分・感謝・ほめ言葉（アイスブレイキング）	8 決まったことの発表	5 前回の解決策の振り返り	9 振り返り	6 議題の提案	10 先生の話		11 あいさつ	<div data-bbox="1098 1189 1289 1249" data-label="Caption"><p>学びの足跡</p></div> 
【基本的な進め方】																	
1 輪になる（時間前）	7 話し合い																
2 あいさつ	・ 解決策を集める																
3 話し合いのルール	・ 解決策をしぼる																
4 いい気分・感謝・ほめ言葉（アイスブレイキング）	8 決まったことの発表																
5 前回の解決策の振り返り	9 振り返り																
6 議題の提案	10 先生の話																
	11 あいさつ																
○創意工夫																	
【2種類の議題とその特徴】																	
①クラスのルールメイク 「給食の配膳を早くするにはどうしたらいいか。」「クラスの仲をさらに深めるにはどうしたらいいか。」など、クラスの課題に対して話し合う。よりよいクラスを目指して折り合いをつけながら決定していく。																	
②個人のお悩み相談 「どうしたら寝坊せず起きられるか。」「友達に思いを上手に伝えるにはどうしたらいいか。」など、一人一人の悩みにクラス全員で寄り添い、解決策を出していく。友達の立場に立ち、親身になって考える姿が多く見られる。																	
【参考文献：赤坂真二『赤坂版「クラス会議」完全マニュアル』】																	

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）	
○児童アンケートの結果、「学校に行くのが楽しい」と回答した児童の割合 89.5%	
○児童アンケートの結果、「クラスの中で安心・安全に過ごせている」と回答した児童の割合 95.3%	
●「何のためにクラス会議を行っているのか」を教員と児童の両方が継続して意識するのが難しい。	
●児童に「委ねる」ために、教師がどのような介入をしていくべきかが難しい。	